

令和6年第2回愛知中部水道企業団議会定例会一般質問一覧表

発言 順序	氏 名	質問方式	質 問 事 項
1	ごとう みき	一問一答	1、愛知中部水道企業団水道料金審議会の事務局提案 と審議の状況について
2	浅井 たかお	一問一答	愛知中部水道企業団管内における有機フッ素化合物 (PFAS)の状況について



様式1

質問方式	
<input type="checkbox"/> 一括方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答方式



### 一般質問通告書

令和6年 7月 16日

愛知中部水道企業団  
議会議長 若園 ひでこ 殿

議会議員 ごとう みき

次の事項について、質問したいので通告します。

<p>質問事項</p> <p>1、愛知中部水道企業団水道料金審議会の事務局提案と審議の状況について</p>
<p>質問要旨</p> <p>1、事務局として、令和7年6月1日から料金改定を行なった場合の数値で各シミュレーションを行い、資料をだしているのはどうしてですか。</p> <p>2、愛知中部水道企業団令和6年度予算編成方針において「個人消費は依然力強さを欠いており」と分析されています。このような情勢の中で水道料金改定を行なうことは住民生活を圧迫することにつながるのではないのでしょうか。</p> <p>3、料金審議会では、水道を利用する住民の生活実態をどのように捉えていますか。水は、生活に欠かせないものであり、過度な節約は、健康や衛生面にも支障をきたします。水道料金を値上げすることにより、入浴回数を減らすなど生活の質が下がることは想定されませんか。</p> <p>4、料金審議会において、いくつかの料金改定シミュレーションが示されましたが、全てにおいて、小口利用者の改定率が一番高くなっています。生活費に占める水道料金の割合が高い低所得者層の負担割合が最も高くなるのが想定されます。これは、料金体系を見直す場合の公平性に欠けるのではないのでしょうか。</p> <p>5、第4回料金審議会で、事務局から「全国の水道企業団が抱える諸課題を要望書として集約し」国の関係省庁に対し陳情を行なったとの報告がありました。陳情項目に、水道料金の値上げを抑制するための項目も入っていますか。</p>

午前10時36分受付



様式1

質 問 方 式	
<input type="checkbox"/> 一 括 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一 問 一 答 方 式

## 一般質問通告書

令和6年 7月 16日

愛知中部水道企業団  
議会議長 若園 ひでこ 殿

議会議員 浅井 たかお

次の事項について、質問したいので通告します。

質問事項 愛知中部水道企業団管内における有機フッ素化合物(PFAS)の状況について
質問要旨 1. 貴企業団は、PFASの検査をいつから始めましたか。 2. 現在、国が打ち出しているPFAS濃度の目標値(正式には「暫定目標値」)を超過した場合は、どのような対応を考えていますか。 3. 木曾川源流域やその近辺地域に、PFAS関連の事業所や産業廃棄物投棄等の有無について、確認はしていますか。 4. このPFASについて、水道利用者に周知はしていますか。



午前11時51分受付